



運送業界の健康支援を生きがいに

124 10周年を迎えて——感謝と決意

SAS事業を立ち上げて早や10年。振り返ると、新幹線運転士のSASによるオーバーラン事件をきっかけ、「SAS対策は事故防止と健康管理の両方に寄与する」との確たる思いから、SASスクリーニング検査を立ち上げ、全ト協の助成事業のモデルとしてスタートしました。その後、SASマニュアルの発出をはじめとした国交省の強力な指導やSASを主原因とした大事故の影響もあり、今やSASは職業ドライバーに不可欠な検査という位置づけです。

■「SAS対策Q&A50」を

増刷

「SAS対策Q&A50」(9月発刊)は全国の協会、事業者さまから、「分かりやすい」「実践的で役に立つ」「事業者の聞きたい回答がここにある」など好

評をいただき、増刷の運びとなりました。

私は昨年、国交省からSASマニュアル(8月改訂版)の原稿執筆の依頼を受け、基本部分をまとましたが、「SAS対策Q&A50」では、そこで説明しきれなかった細部を、事業者さまの声をそのまま紹介する内容でまとめています。スクリー

ニング検査の目的である、「治療完結」を達成するためには、検査後のフォローが欠かせません。マニュアル、Q&Aはともに、事業者さまの目線を外していません。

■業界に特化したマネジメントに向けて

OCHISといえば「SAS検査」というイメージが強いの

ですが、事業立ち上げからずっと「事故防止は健康管理から」と「事故防止は健康管理から」をコンセプトに事業推進してまいりました。職業ドライバーの

健康対策には、メンタル・疲労・生活習慣病などを一体として捉えた総合的なマネジメントこそが重要です。当然ながら睡眠・食事・運動などの日々の予防も欠かせません。

急速に迫り来る高齢化社会。ドライバーの健康対策が今ほど求められたことは過去に皆無です。そして、その対策は運輸業界に特化したものでなければなりません。OCHISでは事業者さま主体の意見交換会である「両輪会」「無料で利用できるSASお悩み相談会」「健診結果活かし方活用勉強会」などを通じて、決して目的を外さない健康マネジメントを提供できると自信しております。

『全日本トラック協会 SAS検査受託機関』
NPO法人 ヘルスケアネットワーク
(OCHIS)
副理事長 作本 貞子
「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表
TEL: 06-6965-3666
FAX: 06-6965-5261
東京オフィス TEL: 03-3295-1271
E-mail sakumoto@ochis-net.com
HP http://sas.ochis-net.jp/

(次回は11月9日号に掲載)